

祝 開学30周年



「ありす会」同窓会報

國學院大學北海道短期大学部同窓会

vol.15
2012.4





國學院大學北海道短期大学部

前学長 **蛭原 弘**
(平成24年3月退任)

昨年の第28回卒業・修了式は、3月11日の東日本大震災・原発事故の直後であり、式典・祝賀会を見直し、経費の一部は滝川市を通じ日本赤十字社に、被災地の復興義援金として寄付、祝賀会は学生食堂に移

し食事会とし、質素な中にも日本国民として、互いの助け合う精神を確認し合ったところでした。

平成24年度は本学開学30周年の節目の年に当たります。2020年前後に予測される大学を取りまく厳しい社会環境を踏まえ、次の40周年に安定している大学をめざし教職員が「開学30周年宣言」を纏め、この精神のもとに開学30周年記念事業を立案し、一年延期した市民の利便性を高める図書館と学内における学生の居場所確保の学生食堂の移設・改修工事を含め愈々実行に移すことになります。この工事を含め貴会からの多額のご支援に御礼申し上げます。

1. 10月27日…式典及び新図書館、新学生食堂の新装披露
2. 6月22日～24日…ありす祭期間学生活動の披露・告諭碑の製作と除幕式、パークゴルフ大会、学びへの誘い(古典籍展の開催)等

次に、平成24年度の入試からありす会々員子弟の入試に優遇処置を付与したところ1名の入学が決定しました。ありす会子弟の入試を促進する時期に来ていることを強く認識したところです。

又、ありす会が10月27日に同窓会札幌大会と併せ第一回ホームカミングデイを企画されたことに私は大いに期待をしております。欧米ではこれを機に母校への想いをはせることが定着しております。母校と卒業生の絆の一つかと思えます。

最後に私は平成15年4月より9年間学長を勤めて参りましたが、この3月末をもって退任しました。現在は学校法人國學院大學理事の立場で本学に関わっております。この間のお力添えに感謝申し上げます。後任は、前滝川市長田村弘であります。地域に根ざし共生する高等教育機関をめざす本学の運営によき人を迎えることが出来、向後の楽しみになりました。ありす会の皆様のご協力を改めてお願いいたします。



國學院大學北海道短期大学部

学 長 **田村 弘**
(平成24年4月就任)

蛭原学長の後を受け継いで、第七代の学長に就任いたしました。歴代の学長が、その道において多大な業績を残してこられた斯学の泰斗であるだけに、緊張した毎日です。

今年は、本学が開学してから30周年を迎える節目の年となりました。皆様が、笑顔と、涙と、喜びとで築いてくださった伝統が、ゆるぎない評価を得て築き上げた30年です。記念事業を、皆が知恵を絞って計画し準備を進めています。

皆様が通い慣れた図書館と学生食堂は、場所を交換して充実する工事が進んでいます。隣接した場所には、空知教育センターが移転する計画です。短期大学部のキャンパスを核として、教育施設・研修施設・公園・購買施設などの設備が進んで、文京町と呼ぶにふさわしい「文の京(みやこ)」としての機能集積が進んでいるのはうれしいことです。

皆さんが情熱を傾けた「ありす祭」では、古典籍展や古典芸能の鑑賞会なども企画されておりますので、是非学友同志誘い合わせて思い出のキャンパスにおいで下さい。

10月27日には開学30周年記念式典・記念講演会を開催します。この折に企画されているホームカミングデイとともに、式典終了後の「ありす会札幌大会」にも是非とも足をお運びいただき、旧交を温め、師と語り、学生の活躍ぶりと短期大学部の変貌ぶりをご覧いただきたいと思います。

江戸時代に塙保己一という人物がいました。7歳で失明しましたが、国史・国文の資料などを編集し、学問的功績を残しました。ヘレンケラーが来日の際に語ったそうです。「母は塙先生は私の手本とすべき人物だと話してくれた」と。日本に誇り高き多くの人物がおり、誇り高い文化を持ち、その精神文化を基礎として現在の日本があり私たちがいます。

折々に本学に足を運んでいただき、時にリフレッシュし、時に学び、時に考える時間を共にしたいと思っています。ありす会の皆様、國學院大學北海道短期大学部に、引き続きご支援いただきますようお願い申し上げます。皆様のご健勝とご活躍を願っております。



國學院大學北海道短期大学部
ありす会

会 長 **山本 健裕**

350名の卒業生、教職員の諸先生方のご参加をいただき、盛会に開催されました25周年記念同窓会から、早いもので5年の月日が経過しました。

この間、ありす会では、会報誌の発行、総会の開催を毎年行っているほか、22年度には、同窓会創立25周年記念事業としてありす祭でのイベント開催、23年度には、東京・國學院大學院友会館において懇親会を開催するなど、会員の皆さま、及び短期大学部のご協力をいただきながら、様々な活動を行ってまいりました。

昨年、東京・國學院で開催されましたありす会懇親会に、1期生から28期生まで70余名の卒業生のご参加をいただいたことは、5年間の活動の確実な結果として、役員・事務局一同大いに励みとなったところです。ご参加いただいた教職員の諸先生、卒業生の皆さまに厚くお礼申し上げますとともに、今後も、定期的に開催してまいりたいと考えております。

そして、本年短期大学部は開学30周年を迎え、別途ご案内のとおり、開学30周年記念同窓会を開催することといたしました。既に、卒業生の中から実行委員を選出し、開催に向けた準備を進めているところです。

「同窓会を短期大学部の一番の応援団に!!」開学30周年を迎えるにあたって、いま、私が想う一番の願いであります。

このため、一年延期となっております校舎改修工事が、本年度実施されることから、本会創立以来積み立ててまいりました「教育振興基金」を、助成金として短期大学部に寄付させていただくこととしております。会員の皆さまには、助成につぎましてご賛同を賜りますようお願い申し上げます。さらには、多くの卒業生の皆さんに記念同窓会

にご出席いただき、短期大学部に大きな「声援」(エール)を送っていただきたいと思います。

私たち卒業生は、一人ひとりが、短期大学部30年の歴史の「ひとつ」でもあります。新しく刻まれる未来へ向かって、母校と共に歩み始める一年になりますよう皆さまのご協力をお願い申し上げます。

同窓会からのお知らせ

平成23年度 國學院大學北海道短期大学部ありす会決算書

(平成23年4月1日～平成24年1月18日)

収入の部

(単位:円)

科目	予算①	決算②	差異②-①	備考
1. 同窓会費収入	3,000,000	2,925,000	△ 75,000	
2. 受取利息収入	30,000	77,044	△ 47,044	
3. 雑収入	10,000	125,000	115,000	総会・懇親会参加費、祝儀
4. 教育振興基金繰入金	8,000,000	0	△ 8,000,000	※平成24年度予算執行
5. 当年度収入合計	11,040,000	3,127,044	△ 7,912,956	
6. 前年度繰越金収入	31,366,683	31,366,683	0	
合計	42,406,683	34,493,727	△ 7,912,956	

支出の部

(単位:円)

科目	予算①	決算②	差異②-①	備考
1. 事務費支出	1,500,000	865,217	△ 634,783	
イ. 用品・備品費支出	50,000	9,935	△ 40,065	
ロ. 印刷・製本費支出	800,000	445,410	△ 354,590	同窓会報印刷代など
ハ. 通信・運搬費支出	600,000	409,872	△ 190,128	同窓会報郵送料など
ニ. その他事務費支出	50,000	0	△ 50,000	
2. 旅費・交通費支出	800,000	539,265	△ 260,735	※1
3. 会費支出	1,000,000	472,892	△ 527,108	※2
4. 雑支出	250,000	133,845	△ 116,155	※3
5. 補助費支出	800,000	678,280	△ 121,720	※4
6. 援助金支出	300,000	0	△ 300,000	
7. 協賛金支出	9,000,000	100,000	△ 8,900,000	※5
8. 奨学金支出	300,000	0	△ 300,000	
9. 教育振興基金繰出金	600,000	600,000	0	
10. 事業振興基金繰出金	600,000	600,000	0	
11. 予備費	300,000	0	△ 300,000	
12. 当年度支出合計	15,450,000	3,989,499	△ 11,460,501	
13. 次年度繰越金	26,956,683	30,504,228	3,547,545	
合計	42,406,683	34,493,727	△ 7,912,956	

※1 幹事会(28)旅費、幹事(1回)120,000円、30周年記念同窓会実行委員会250,000円など
 ※2 総会・懇親会経費補助、幹事会・実行委員会金増費(70,000円)など
 ※3 卒業式スタンド花(21,000円)、退職者への花ギフト券(12,000円)、ありす会報送付作業代(72,660円)、ホームページ更新(25,200円)他
 ※4 卒業記念品代(210,000円)、卒業修了食事会一部補助(100,000円)、ありす会ポスター他
 ※5 同窓生コミュニティ活動助成金(100,000円)

【収支差額】

収入総額	¥34,493,727	【預金状況】
支出総額	¥3,989,499	普通預金 ¥9,492,234 ※普通預金残高
差引残額	¥30,504,228	定期預金 ¥21,011,994 ※定期預金の残高(基金積立分を除く)
		合計 ¥30,504,228

同窓会教育振興基金・同窓会事業振興基金明細

同窓会教育振興基金(定期預金)	同窓会事業振興基金(定期預金・普通預金)	(預金状況)
繰越金 ¥8,512,490	繰越金 ¥13,197,682	普通預金 ¥3,801,234
当期受入額 ¥600,000	当期受入額 ¥600,000	定期預金 ¥10,000,000
当期受取利息 ¥15,112	当期受取利息 ¥3,552	
¥9,127,602	¥13,801,234	¥13,801,234

収入の部

(単位:円)

科目	予算①	前年度予算②	増減①-②	備考
1. 同窓会費収入	3,000,000	3,000,000	0	15,000円×200人
2. 受取利息収入	30,000	30,000	0	
3. 雑収入	10,000	10,000	0	
4. 前年度繰越金収入	30,504,228	31,366,683	△ 862,455	
5. 教育振興基金繰入金	10,000,000	8,000,000	2,000,000	※1
6. 同窓会事業振興基金繰入金	3,000,000	0	3,000,000	開学30周年記念同窓会開催財源として繰入
合計	46,544,228	42,406,683	4,137,545	

支出の部

(単位:円)

科目	予算①	前年度予算②	増減①-②	備考
1. 事務費支出	1,700,000	1,500,000	200,000	
イ. 用品・備品費支出	50,000	50,000	0	
ロ. 印刷・製本費支出	800,000	800,000	0	同窓会報・案内状印刷費 他
ハ. 通信・運搬費支出	800,000	600,000	200,000	同窓会報・案内状郵送料 他
ニ. その他事務費支出	50,000	50,000	0	
2. 旅費・交通費支出	1,800,000	800,000	1,000,000	30周年記念同窓会実行委員会 他
3. 会費支出	3,500,000	1,000,000	2,500,000	同窓会報費、記念同窓会費補助等
4. 雑支出	250,000	250,000	0	花束代 他
5. 補助費支出	800,000	800,000	0	卒業記念品 他
6. 援助金支出	300,000	300,000	0	
7. 協賛金支出	10,500,000	9,000,000	1,500,000	※2
8. 奨学金支出	300,000	300,000	0	
9. 教育振興基金繰出金	872,398	600,000	272,398	
10. 事業振興基金繰出金	600,000	600,000	0	
11. 予備費	300,000	300,000	0	
12. 次年度繰越金	25,621,830	26,956,683	△ 1,334,853	
合計	46,544,228	42,406,683	4,137,545	

※1 校舎改修事業助成金及び開学30周年記念事業協賛金財源として繰入
 ※2 卒業祝賀会協賛金(10万円)、校舎改修事業助成金(800万円)、開学30周年記念事業協賛金(200万円)

平成24年度 國學院大學北海道短期大学部ありす会予算書

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

校舎改修工事費助成及び 開学30周年記念事業協賛金の支出について

前年度に予定されていた校舎改修工事が順延され、24年度中に実施されることから、母校の教育環境整備・充実への協力として、800万円の助成を行います(前年度総会において承認済み)。

また、開学30周年事業への協賛金として200万円を支出することを予定しています。

なお、上記、計1,000万円の財源については、本会設置以来、母校の教育環境整備に活用することを目的として積立を行ってきました「教育振興基金」から繰入することとしています。

ありす会新役員立候補者の募集について

本年10月の総会をもって、現役員の任期が終了することから、ありす会規約第13条により、新役員の立候補を受付けます。立候補者は、平成24年7月10日までにありす会事務局(短期大学部内)宛てに、文書により立候補の意志を通知してください(任意様式)。

役員の任期は5年。各役職の人数は以下のとおりです。

- 会長・副会長・事務局長……………各1名
- 幹事……………4名
- 会計監査……………2名

東京・國學院大學にて総会を開催しました!!

平成23年10月21日(金)午後7時から、東京・渋谷の國學院大學院友会館にて、23年度ありす会総会及び懇親会を開催しました。

当日は、1期生から28期生まで約70名の卒業生が出席され、短期大学部から播摩光壽副学長先生をはじめ、国文学科からは安田義明先生、総合教養学科から牧野多聞先生、舛井雄一先生、幼児・児童教育学科から黒阪陽一先生、笹木義久先生のご出席をいただき、また、現在関東地区の大学で教鞭を執られている内田英二先生、塚越義幸先生にもご出席いただくなか、盛大に開催されました。



短期大学部からのお知らせ

開学30周年記念

本学は今年開学30周年を迎えます。30周年記念事業はこの先の40周年・50周年・60周年を安定した高等教育機関として迎えるために、本短期大学部に関わる全ての人々の参加とご協力をいただき開催いたします。

特に卒業生の皆さんには、恩師・後輩との交流を深め、近年の短期大学部をご理解いただきたくご協力ご参加をお願い申し上げます。

なお、詳細につきましては、随時本学ホームページ等でご紹介しますので、ご友人お誘い合わせのうえでご参加下さい。

式典・イベント

- 6.9～6.17／学びへの誘い(古典籍の展示)
～物語にみる源平合戦～(札幌紀伊国屋書店)
- 6.18～6.24／学びへの誘い(古典籍の展示)
～物語にみる源平合戦～(本学記念館)
- 6.22／古典芸能鑑賞会(大蔵流狂言 山本東次郎氏)
- 6.22／古典芸能鑑賞会(平家物語 琵琶弾語り公演)
- 6.23／「たのしい発表会」幼児・児童教育学科主催 ウェルカム
スプリングフィールドデイ・サマーフェスタPG大会など
- 9.7～13／金田一記念文庫展示会(札幌紀伊国屋書店)
- 9.13／のしろや秀樹PG大会
- 9.30／ベカンペ祭(アイヌ文化交流の集い)
- 10.27／開学30周年記念式典・ホームカミングデー

専攻科福祉専攻

保育士資格を取得している方は1年で介護福祉士資格が取得できます

高齢社会が更に進む現在、地域でも介護福祉士が求められる時代が更に高まっています。本学の福祉専攻は、保育士資格を取得している方は1年で介護福祉士資格が取得できます。平成27年度からは介護福祉士資格取得には国家試験制度が導入されますが、現在は免除されています。

卒業生が、保育士としての経験や学びを生かし入学し、介護福祉士として社会に巣立っています。また、社会人入学者奨学制度(学費等の全額又は半額免除)や各種奨学金制度がありますので、入学係までお問合せ下さい。 電話0125-23-4111

私は、専攻科福祉専攻で専門職としての基礎知識や技術、または心構え等を1年間かけて学びました。

在学中の介護実習にて6週間お世話になった施設の方針や様々な取り組みにとっても刺激を受け、4月からパート職員として在職させていただいて居ます。また私の子育てへの理解もいただき大変助かっています。

1年間専攻科で学んだ事を活かし、就職してからは利用者様の気持ちに寄り添い声なき声や表情から様々な想いに気付ける様、日々利用者様の視点に立ち気持ちを汲み取れる様に心がけています。利用者様との出会いや、巡り会いに感謝し今後も介護福祉士として自己研鑽を続けて行きたいと思っています。



上 裕子

- 平成14年度、幼児児童教育学科(保育コース)を卒業
- 平成23年度、専攻科福祉専攻に入学

【福祉専攻教員より一言】

上さんは本学の幼児・児童教育学科を卒業後、保育士として就職しました。その後結婚、出産を経て施設に勤務しましたが、専門の知識を求めて昨年専攻科へ入学してきました。子育てをしながら学ぶ事は苦労が多かったと思いますが、介護福祉士として対象者の目線で考え、学ぶことの重要性を感じ大きく成長したことを嬉しく思います。

日本学生支援機構の奨学金返済について

在学中貸与を受けていた奨学金は滞りなく返還していますか？

奨学金の返還が延滞すると延滞金が発生します。また、返還の請求・督促に応じない場合には法的措置が執られ、給与や財産が差し押さえられます。

月々返済することが第一ですが、万が一返済に窮する場合(災害・傷病・経済困難・失業等)には所定の手続きをすることで一定期間返還を猶予されることがあります。

奨学金は貸与されたものです。最後まで責任を持って返還しましょう。

お問合せ

日本学生支援機構
奨学金返還相談センター
TEL.0570-03-7240
<http://www.jasso.go.jp>

『ありす会会員 子弟入学者 奨学金制度』のご案内

「ありす会特別入試」受験者(ありす会会員の直系血族・一親等の者)で、入学手続きを行った場合、入学金の2分の1を支給する『ありす会会員子弟入学者奨学金制度』が新設されましたのでお知らせします。

学科・コースだより

国文学科

卒業生の皆さんへ

諸君の母校は、今年30周年を迎えます。1982年(昭和57年)國學院大學の建学の精神を継承しながら、女子短期大学として開学しました。第1期生のほとんどの方は、50歳を越えることになるはずです。

開学以来の歴史を振り返りますと、いろいろなことがありました。私は、2年間の非常勤講師を経て、1990年(平成2年)専任となりましたので、22年間勤務したことになります。その間でも、男女共学化・専攻科開設・小学校教諭養成課程開設・学校名改称と、時代とともに短大も変わってきました。その中で一つだけ変わっていないことを見つけました。それは本短大部の卒業生の、社会や家庭での地についた活躍ぶりです。昨年10月21日、初めて東京であります会が開かれました。予想以上の卒業生が集まり、情報交換が行われました。そこで、短大の教育がしっかりと根付いていることを確信したわけです。

30周年を契機に、さらにお互いに強く手を取り合って、一歩でも前進しようではありませんか。今年はその機会を多く提供できると思います。まずはお集まり下さい。



副学長
国文学科長 教授
播摩 光壽

総合教養学科

総合教養 学科の紹介

総合教養学科は、その名称をコミュニケーション学科から総合教養学科へ変えて、早くも5年目を迎えました。名称変更に当たって、学科の教員がほぼ一年間かけて検討し、「社会に貢献する自立した人づくり」を学科の教育理念としました。さらに「多面的な価値観と多角的な視野を備え、多様化する現代社会に貢献できる人材を育成する」ことを教育目的としました。

この教育目的を実現するために、次の四つの教育目標を設定し、実践してきました。

- 1 幅広い知識を身につけるとともに、多角的なものの見方・考え方を培い、豊かな心と健やかな身体を養う。
- 2 個人の価値を尊重し、自己理解を深めるとともに、他者を理解して、自己の特性に気づき、自己を表現する力を育てる。
- 3 自ら考え、判断するとともに行動する力を培い、自主自立の精神を養う。
- 4 自他の敬愛と協力を重んずるとともに、社会を理解する力を培い、公共の精神に基づき、社会に貢献する態度を養う。

具体的には、外国文化、哲学、法律学、経済学、情報技術教育の領域の講座を展開し、教育目標の達成を目指して教育活動に努めております。

昨年度から、小学校で英語活動が始まりました。それにとともに、中学校や高等学校の英語教育が変わりつつあります。その変化を予想し、本学科では昨年度から本学の英語教育の見直しを進めてきております。平成25年度からの講座の展開に反映できるものと考えております。

これからも新しい時代(社会)に貢献できる人の育成を目指して、努力を積み重ねて参ります。ご支援の程、よろしくお願いいたします。



総合教養学科長 教授
本間 登司夫

幼児・児童教育学科

幼児・児童教育学科は「幼児保育」、「福祉介護」及び「児童教育」の3コース併せて68名の新生を迎え今年度もスタートを切りました。

最近、本学科で目立つことに、お子さんをお持ちの方など豊富な社会経験を有する学生が増えたことがあります。

彼(彼女)等は、それまでの経験知識を活かし、新卒入学生に対しては様々にさり気ない支えを行う等貴重な役割を果たし、他方、彼(彼女)等自身も周りの新鮮な若さに日々触れながら資格に向けた勉学への意欲に再び目覚めているようです。

学生間に育つこのような一面は、本学開学30周年の今年「たのしい発表会」(6月)、「学科・専攻科合同研究会」(7月)、「ふれあい元気カレッジ」(7月)など、本学科(保育、福祉両コース)が予定する事業に向けて、エネルギーのたいなる原動力となるかもしれません。



幼児・児童教育学科
学科長・教授
足立 心一

幼児・児童教育学科

開学30周年をみんなで祝おう

児童教育コースが開設し、早6年の歳月が経過しました。この間卒業生は全国各地に広がり、それぞれの地や場所で、力を発揮し活躍されていることと思います。

さて、開学30周年目の節目の年に当たり児童教育コースでは、教育活動の一層の充実を図る一方で、日ごろお世話になっている地域との連携を強めていきたいと考えています。具体的には今年のありす祭で、コースの目玉行事として「スポーツ教室」の開催を計画しています。市内の小学生を対象に、サッカー等の球技教室を開き、スポーツへの関心と技能を高めてもらおうと考えています。その折、是非卒業生の皆さんにも参加いただき児童支援のお手伝いを願えばより効果的な「スポーツ教室」を実施できるものと確信しています。さらに当日は、児童教育コースの展示室もご覧いただければ最近の児童教育コースの活動が手に取るようにわかり、先輩と後輩の繋がりも深まるものと思います。

日々お忙しい毎日かと思いますが、ちょっと思い出の短大へ足を運んでみませんか。



幼児・児童教育学科
児童教育コース主任・教授
西出 稔

専攻科福祉専攻

専攻科修了生の皆さん、お元氣ですか。

専攻科福祉専攻の開設から今年で13年目を迎えました介護福祉を取り巻く環境は変化し平成21年度からカリキュラムが大幅に変わり、さらに平成24年度から介護福祉士等によるたん吸引・経管栄養の一部が一定の条件下で認められることとなりました。

このような社会の変化に対応すべく、皆さんは日々研鑽されていることと思いますが、今年は、國學院短期大学部は開学30周年を迎え、この記念すべき30周年の年に「図書館」と「学生食堂」が改築されますので、時間の調整がとれましたら少し近代的になったかも知れない校舎で、専攻科時代を語り合いませんか?お待ちしております。



福祉専攻主任 准教授
鍋澤 信子

事前告知

開学30周年記念同窓会を 開催します!!

平成24年度に短期大学部が開学30周年を迎えることを記念して、下記の日程により開学30周年記念同窓会を開催いたしますので、卒業生の皆さまへお知らせいたします。

当日は、短期大学部にご在職中の教職員の先生をはじめ、OBの教職員の皆さまにも広くご参加をお願いしており、お世話になった先生にお会いして、近況をご報告する絶好の機会です。

また、5年前に開催されました開学25周年記念同窓会では、300余名の卒業生のご出席をいただき、大変盛会に開催されました。卒業以来、疎遠になっている同級生、先輩、後輩と近況を報告し合う、5年に1度の機会ですので、お誘いあわせのうえ、多くの卒業生の皆さまのご参加をお待ちしております。

なお、開催についての正式なご案内状の送付は、8月上旬を予定いたしております。



開催日時 平成24年10月27日(土) 18時

日時場所 札幌プリンスホテル 国際館パミール

会費 3,000円 (7,000円の会費に、ありす会からお一人4,000円の助成をいたします。)



INFORMATION

氏名・住所等の変更の際は、 同窓会にもご連絡ください

ありす会ではできるだけ多くの卒業生の皆さんとのつながりを大切にしたいと考えております。住所等が変更された場合は、必ず同窓会にもご一緒にください。住所等の変更の連絡は、

TEL 0125-23-4111

FAX 0125-23-5590

メール arisukai@kokugakuin.jp

で受け付けています。住所等の変更のご連絡をいただけない方は、同窓会報や同窓会の開催案内等をお届けすることができません。お近くで、会報の届いていない卒業生をご存知でしたら、お手数ですが同窓会宛にご連絡をいただきますようお願いいたします。

ご連絡の際は、氏名・旧姓・学科・卒業年度・郵便番号・現住所・電話番号・メールアドレス（任意）をお知らせください。

各種証明書の申し込み

卒業後に就職等の都合で諸証明書が必要となり、短大窓口に来ることができない場合は、各種証明書を郵送で申し込むことが出来ます。

國學院大學北海道短期大学部のホームページから「卒業生の方へ」→「証明書の申し込み」に進みます。「証明書申込書」をクリックし、表示された用紙をプリントアウトして自筆にて項目を記入の上、証明書料金（申込書に記入されています）と返信用封筒（切手添付／長3封筒使用）を國學院大學北海道短期大学部学生支援センターまでお送りください。なお、詳しくはお問い合わせください。

ホームページアドレス

<http://www.kokugakuin-jc.ac.jp/alumni/shomeisho.html>

祝電プレゼント

ご結婚がまった場合は、短大部ありす会事務局までご連絡ください。ささやかですが、祝電をプレゼントします。挙式日程、会場等とあわせて姓名・住所変更等のご連絡もお願いします。